

科目名 (科目番号)	生理機能検査学実習Ⅱ	教員名	飯田 典子 他	学科等	臨床検査	必修	履修年次	2
	(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				授業形態	実験・実習	オフィスアワー	B205研究室	
授業概要	患者に電極やプローブなどを直接接触させて行う生理機能検査法を学ぶと同時に、生体に対する安全性の確保、検査技師として患者と向き合った場合の心構えや検査中に生ずる緊急事態への対応、感染対策について検査機器を前にして学ぶ。さらに検査結果の解析と評価ができる能力を養う。							
目的・目標	目的:生理機能検査について検者・被検者を体験し、その検査法について学ぶと同時に、検査の安全管理や患者対応などについて理解する。 目標:①生理機能検査について、目的や検査法を理解し、説明できる。 ②自らが検者・被検者を体験することにより、検査の安全管理や患者対応などを理解し、説明できる。							
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。							
授 業 計 画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	循環器系の検査 (I)	到達目標:心電図記録の電極配置法、誘導法を理解する。 学習内容:四肢誘導、胸部誘導、雑音混入など					
	2	循環器系の検査 (II)	到達目標:心電図およびホルタ心電図を測定・波形計測し、正常心電図を理解する。 学習内容:電極接着法、記録法、波形計測、呼吸性不整脈					
	3	循環器系の検査 (III)	到達目標:心音図記録、頸動脈、光電式容積指先脈波のセンサーの装着部位と記録法を理解する。 学習内容:心音図計測、頸動脈波、指尖容積脈波など					
	4	循環器系の検査 (IV)	到達目標:サンプルの異常心電図波形を判読法し、理解する。 学習内容:不整脈、虚血性心疾患、心電図判読					
	5	神経系の検査 (I)	到達目標:脳波電極配置、記録法を理解する。 学習内容:電極位置と接着法、導出法など					
	6	超音波検査 (I)	到達目標:腹部超音波検査法および心臓超音波検査法と波形の計測法を理解する。 学習内容:肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓・腎臓の描出、心臓Mモード波形の計測法					
	7	超音波検査 (II)	到達目標:心臓超音波検査ドプラー法による血流計測と心臓超音波検査を理解する。 学習内容:ドプラー法、血流計測など					
	8	呼吸器系検査 (I)	到達目標:呼吸機能検査の注意点と肺気量ガスの計算方法、%肺活量などの計測法を理解する。 学習内容:患者急変時の安全対策、禁忌事項、肺気量分画など					
	9	呼吸器系検査 (II)	到達目標:努力性肺活量から1秒率などの計測と評価法、血液ガス分析を理解する。 学習内容:換気能力、動脈血酸素飽和度、経皮的血液ガス分圧など					
	10	脳波検査 (I)	到達目標:脳波電極配置法、誘導法を理解する。 学習内容:10/20電極法、賦活法、睡眠脳波、異常脳波など					
	11	脳波検査 (II)	到達目標:正常・異常サンプル脳波波形の判読し、理解する。 学習内容:睡眠脳波、異常脳波など					
	12	誘発脳波検査 (V)	到達目標:各種刺激による誘発電位の記録、波形の計測と評価法を理解する。 学習内容:聴性脳幹反射、視覚誘発電位、運動誘発電位、体性感覚誘発電位など					
	13	筋電図検査 誘発筋電図検査	到達目標:表面筋電図の意義と電気刺激装置の取扱い方、誘発筋電図記録法、末梢神経伝導速度検査の実施法を理解する。 学習内容:表面筋電図、運動神経誘発電位、感覚神経伝導速度など					
	14	平衡機能検査	到達目標:電気眼振計の取扱い方と記録条件と重心動揺検査記録法を理解する。 学習内容:重心動揺検査					
15	熱画像検査	到達目標:室温熱画像検査と冷水負荷による検査法について理解する。 学習内容:サーモグラフィ、皮膚表面温、レイノー病						
成績評価の方法・基準	期末試験 (50%) + レポート (50%) で評価する。							
教科書	最新 臨床検査学講座 生理機能検査学 第3版 実習手引書・プリント資料を配布			東條尚子・川良徳弘 編著		医歯薬出版		
参考図書	生理機能検査学実習書			(一社)日本臨床検査学教育協議会		医歯薬出版		
教員からのメッセージ	事前に配布するプリントおよび教科書の当該実習項目についてしっかり読んで実習に臨むこと。実習中にも要点を板書するので、しっかりメモをとること。実習項目ごとにレポート提出があり、当日提出になるので予習をして実習に臨むこと。 総合病院で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。							